

令和6年度 第1回宇都宮市保健衛生審議会 議事録

1 会議名

令和6年度 第1回宇都宮市保健衛生審議会

2 開催日時

令和6年7月12日（金）午後7時00分～午後8時20分

3 開催場所

宇都宮市保健所 大会議室

4 出席者氏名

(1) 委員（17名）

長谷川武士委員、福田久美子委員、石川鎮清委員、松本国彦委員、
北條茂男委員、保坂恒委員、朝野春美委員、石田美幸委員、
野間重孝委員、寺内幸夫委員、菊地正幸委員、大森幹夫委員、
釣持幸子委員、松谷宣子委員、築嶋利美委員、野上有子委員、
藏谷友香委員（委員名簿順）

※欠席委員：小橋元委員、中野智之委員、秋本薰委員、國谷優委員

(2) 事務局（17名）

[保健福祉部] 部長、参事（保健衛生担当）、保健所長、副参事（衛生担当）

[保健所総務課] 課長、主幹、課長補佐、企画グループ係長

[健康増進課] 課長、課長補佐2名、企画グループ係長、
健康づくりグループ係長、健康診査グループ係長

[保健予防課] 課長、課長補佐、保健対策グループ係長

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者の数

なし

7 議事

(1) 報告事項

- ① 「第2次健康うつのみや21」の最終評価について
- ② 「第2次宇都宮市歯科口腔保健基本計画」の最終評価について

(2) 協議事項

「(仮称) 第3次健康うつのみや21計画」の基本的な方向について

8 会議経過

(1) 開会

(2) 諮問

宇都宮市長より、 諮問・あいさつ

(3) 委員紹介

(4) 副会長の選任

互選により、長谷川委員を選任

(5) 議事

ア 報告事項

① 「第2次健康うつのみや21」の最終評価について

② 「第2次宇都宮市歯科口腔保健基本計画」の最終評価について

イ 協議事項

「(仮称) 第3次健康うつのみや21計画」の基本的な方向について

(6) その他

事務局から次回の開催日（令和6年11月21日（木））を案内

9 発言の要旨

(1) 報告事項

① 「第2次健康うつのみや21」の最終評価について

・意見なし

② 「第2次宇都宮市歯科口腔保健基本計画」の最終評価について

・意見なし

(2) 協議事項

「(仮称) 第3次健康うつのみや21計画」の基本的な方向について

委員	・ライフコースアプローチの観点を踏まえるという位置づけがあるが、「子ども、高齢者、女性、働く世代」へのアプローチがライフコースアプローチとなるのか教えてほしい。
事務局	・例えば、女性については、年齢によりホルモンのバランスが変化していくため、若い年代、働く世代、高齢期といった、女性のライフステージごとの健康課題への取組に加え、次のライフステージを見据えて取組を推進することが重要であると考えている。
委員	・長年、栃木県は、脳血管疾患の死亡率が高いと言われている。高血圧症のデータで、「男女とも薬を服用している

	人は全国値よりも少ない」という結果は、どのように捉えているのか教えてほしい。
事務局	・血圧を指摘された者の割合が高くなっているが、薬を服用している人が全国値よりも少ないとデータから、血圧を指摘されたにもかかわらず、症状がないため大丈夫と自己判断し、治療につながっていない人が多いのではないかと推測している。
委員	・宇都宮市は、10万人あたりの医療給付費が全国平均と比較し低いが、医師の診療を受けない人が多いなど、どのように分析しているのか教えてほしい。
事務局	・今回の調査は、医療費データではなく、無作為抽出した市民に対する意識調査の結果から分析しており、「血圧の指摘を受けたことがある」と回答した方に対して、治療や取組を行っているか質問した結果となっているため、医師の診察もしくは健診で指摘を受けたが、何も取り組みをしていない方が増えていると捉えている。
委員	・血圧に関しては、血圧のコントロールが重要であり、コントロールできないことで重大な疾患に繋がると考えられるため、さらなる周知の強化などの取組が必要ではないかと考える。
委員	・睡眠による休養がとれていない割合が多いというデータ、特に女性の割合が高いという結果について、重要なことと捉えている。どのように分析しているのか教えてほしい。 ・市民の方からの相談を受ける中で、こころの健康を害し、仕事を失ってしまうという方が増えている実感があり、こころの健康には、社会的な自立の基になる仕事を継続していくことが、とても大事なことだと認識している。
事務局	・現在の社会の中では、男性よりも女性の方が、家事や育児に要する時間が多いことから、睡眠時間の短縮や睡眠による休養がとれていないことにつながっているのではないかと考えている。 ・また、事業所を対象にしたアンケート調査の結果においては、事業主がメンタルヘルス対策の重要性を認識してきているという結果も出ていることから、事業所との連携を強化し、職場におけるこころの健康づくりにも着目した取組を検討していきたいと考えている。
委員	・日本人の睡眠時間は、世界の中でも短いと言われている。睡眠は健康には大変重要なことであり、社会情勢の変化をと

	らえながら、今後の取組を検討していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりについて、幼少期からの習慣が成長してからの健康状態に大きな影響を与えるというのは、その通りだと思っている。現在、学校での端末使用による目への影響や、外遊びが少なくなったことによる肥満、アレルギーのお子さんが増えている現状に対して、子どもの健康と学習環境は深く関連していると考えている。子育てや学校教育との連携により、子どもの健康の維持・増進を図る必要があると考えているが、どのように考えているのか教えてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 市民意識調査や各種データ等の分析の結果、幼児期・小学校期における外遊びの減少や子どもの肥満の増加などの課題が見えてきた。御意見のとおり、小さいときからの健康管理が重要であると考えていることから、学校分野などとの連携を図りながら、取組を進めていきたいと考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 栃木県は、寒暖の差が激しく、かつ、食事では味が濃いものを好む方が多い。それに加え、寒冷対策された住宅ではないなど、環境的な要因もあり、脳血管疾患の死亡率が高い。 血圧に限らず、自覚症状がない者に対し、どのようにアプローチしていくかが課題。健診で要精密検査となった方が受診につながらない、次回の健診でまた指摘される、の繰り返しとなることもあるため、精密検査の受診や治療につなげることが重要と考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 最近「医療はコストである」という考えが蔓延しており、採算が取れない薬は、廃番になるなど、社会全体としての問題と考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 実際の現場では、利益につながらない薬は作らない、作ると赤字になってしまうということで、企業としてもジレンマがある。宇都宮市の問題ではなく、国の問題として国で動いてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤師の現場でも、同様に感じており、大変苦労している。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 小児の肥満の件に関しても、学校の問題だけではなく、いろいろな側面から全体を把握し、検討をお願いしたい。アプローチする場所は、それぞれあると思われることから、医療、学校、行政等、連携して取り組んでいけると良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 小さい頃の健康教育がポイントだと思っている。例えば、

	新型コロナウイルス感染症の感染予防のための手洗いなど、基本的な生活行動の獲得ができていれば対応できるなど、幼児期の健康教育は重要と捉えている。そのようなことから、幼児期に過ごす保育園や幼稚園などへ、看護師が配置されている環境が望ましいと考える。
委員	・宇都宮市は自転車競技やバスケットボールが盛んであるなど、非常にスポーツに対して良いイメージがある。スポーツが盛んな環境というのは、多くの市民にスポーツが広まり、運動不足や肥満の改善につながっていくのではないかと考えられることから、自然に健康になれる環境づくりの視点において有効ではないかと考える。
委員	・子どもの虫歯やピロリ菌の感染を防ぐためには、どのような対策が有効なのか伺いたい。
委員	・あまり神経質になる必要はなく、口腔内の清潔を維持していくことが重要である。医療は日々変わっていくため、いろいろな情報から正しい情報を選択でき、行動できる能力が重要である。

10 その他

- ・事務局より次回の開催日（令和6年11月21日（木））の案内